

平成 31 年 1 月 31 日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 須田 哲  
経営サポートセンター リサーチグループ  
グループリーダー 川森 大輔  
担当 松原・関  
電話 03-3438-9932

## 平成 29 年度 医療法人の経営分析参考指標及び 経営状況に関するリサーチレポートの公表について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標及びリサーチレポートとして集計・分析しています。

このたびは、平成 29 年度の医療法人の経営状況について、とりまとめました。

詳細はホームページに掲載しております。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiq-a-tabid-1976/>

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-report-h30/>

### リサーチレポートの概要

- 事業収益対事業利益率は 1.7%と前年度の 2.4%から 0.7 ポイント低下した。また、赤字\*法人の割合は 22.5%と前年度の 20.4%から 2.1 ポイント拡大した。
- 事業収益規模別の経営状況を比較したところ、事業収益規模が小さい法人ほど赤字が多く、事業収益対事業利益率のバラつきが大きい傾向にあった。事業収益規模が小さい法人は大きい法人に比べて実施する事業の数が少なく、一つの事業に収支が依存するため、事業収益対事業利益率のバラつきも大きくなっているものと考えられる。
- 事業収益規模の大きい法人においても、実施事業数が多いほど赤字は少ない傾向がみられたことから、複数の事業を実施することで経営のリスクが分散される効果があると思われる。
- 医療法人は以前に比べて赤字割合が増加しており、全体的には厳しい経営環境が続くと想定される。将来にわたって安定的な経営基盤を築くためにも、中長期計画策定時等において事業構成を検討していくことが重要である。

\* 経常利益が 0 円未満